

第15回

全国大学コンソーシアム 研究交流フォーラム

大学連携による学生と地域のエンパワーメント
～未来の地域づくりを目指して～

- 開催日時：2018(平成30)年9月1日[土]・2日[日]
- 開催場所：公立はこだて未来大学(函館市亀田中野町116番地2)
- 共催：全国大学コンソーシアム協議会、キャンパス・コンソーシアム函館
- 後援：文部科学省、報道機関等



第15回

全国大学コンソーシアム 研究交流フォーラム

1 開催日時 2018(平成30)年 9月1日[土] 10:00～19:40
2日[日] 9:45～11:45

2 会場 公立はこだて未来大学 函館市亀田中野町116番地2

3 テーマ 大学連携による学生と地域のエンパワーメント
～未来の地域づくりを目指して～

【大会趣旨(提案理由)】

我が国の高等教育をめぐる環境の厳しさが増すなかで、真に学生が勉学に集中できる環境の整備と学生生活の支援は、高等教育機関に共通する重要課題の一つである。大学コンソーシアムの特徴は、一つの独立した高等教育機関によっては成し得ない教育的、社会的な共同事業に着手できることにあり、キャンパス・コンソーシアム函館(CCH)は、このような共同事業の展開を目指して2006年に設立され、2009年には第6回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムを開催し、『学習者の人間的感性、広範な知識と適切な判断能力、社会的正義感と真理への勇気を兼ね備えた「真の教養人」を育てること』をスローガンに、コスモポリタンな「人間力」をもった若者による街づくりのあり方を提起した。

このたび、第15回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムを開催するにあたり、CCHでは高等教育連携による若者や地域住民の「エンパワーメント(湧活)」を大会テーマに掲げた。エンパワーメントは人間や社会の潜在的な能力の開化や権限付与を意味する概念であり、家庭の経済や教育の格差が拡大しつつある我が国において、高等教育にはどのような若者も才能を存分に開化させ、未来社会に期待される人間として育てあげるエンパワーメント機能の強化が求められている。

これまで、大学コンソーシアムは、複数の大学、企業や団体との幅広い連携にもとづく多様な共同事業に着手してきた。このフォーラムでは、学生や地域住民の潜在的な能力を全面的に開化させ、豊かで多様な未来の地域づくりに取り組む方略について経験を交換し、今後也有可能と思われるコンソーシアム事業について展望したいと考える。

2018(平成30)年 9月1日[土]

第1日目

9:00

10:00

受付

【3F正面玄関】

イベント：ワークショップ

【会場：1Fプレゼンテーションベイ】

ポスターセッション

【会場：3Fモール】

11:30

12:00

全国大学コンソーシアム協議会総会

【会場：5F会議室】

・コアタイム

12:30

13:00

開会・挨拶 【会場：4F講堂(3F大講義室※)】

片桐 恭弘 公立はこだて未来大学 学長(キャンパス・コンソーシアム函館監事)

吉田美喜夫 全国大学コンソーシアム協議会代表幹事

工藤 壽樹 函館市長(調整中)

全体司会：鳥飼やよい氏 ロシア極東連邦総合大学函館校 准教授

13:15

基調講演 【会場：4F講堂(3F大講義室※)】

白石克孝氏 龍谷大学 政策学部 教授

テーマ：大学連携による学生と地域のエンパワーメント

～京都アライアンスの経験をふまえて～

14:15

休憩

・コアタイム

15:00

シンポジウム(前半) 【会場：4F講堂(3F大講義室※)】

テーマ：大学連携による学生と地域のエンパワーメント

～未来の地域づくりを目指して～

シンポジスト：美馬のゆり氏 公立はこだて未来大学 教授

高橋和将氏 函館大学 地域連携コーディネーター

古館 葵氏 ハコレコドットコム株式会社

コーディネーター：古地順一郎氏 北海道教育大学函館校 准教授

15:50

休憩

16:05

シンポジウム(後半) 【会場：4F講堂(3F大講義室※)】

基調講演者、シンポジストによる意見交換

会場からの質疑応答

17:15

文教行政報告 【会場：4F講堂(3F大講義室※)】

三浦和幸氏 文部科学省高等教育局 大学振興課長

テーマ：高等教育政策の動向について

17:50

閉会

18:10

情報交換会 【会場：1F食堂】

19:40



基調講演などの 会場について

基調講演・シンポジウム・
文教行政報告の会場は4
階講堂ですが、満員の時は
3階大講義室で映像配信
にてご覧いただけます。

2018(平成30)年 9月2日[日]

第2日目

9:00

受付

9:45

分科会

第1分科会

第2分科会

第3分科会

第4分科会

【各分科会とも会場調整中】

11:45

プレイベント:ワークショップ

コンソーシアム運営における課題とその克服に向けて ～課題から紐解くコンソーシアム組織のあり方～

概要

大学コンソーシアム事務局の関係者がそれぞれの活動を振り返りながら、運営において日々感じている課題を共有し、それを克服するために必要なことやスキルとは何かについて考えます。

コーディネーター 西本 聡子 氏 大学コンソーシアム大阪

ファシリテーター 田中 邦明 氏 キャンパス・コンソーシアム函館
森岡 茂雄 氏 学術・文化・産業ネットワーク多摩
難波 美都里 氏 南大阪地域大学コンソーシアム
桂 良彦 氏 大学コンソーシアム京都
渡邊 和親 氏 大学コンソーシアム熊本

講評者 伊藤 嘉瑞 氏 大学コンソーシアム石川
川野 祐二 氏 教育ネットワーク中国

基調講演

大学連携による学生と地域のエンパワーメント ～京都アライアンスの経験をふまえて～

概要

文部科学省の戦略的大学連携支援事業の採択事業を皮切りにして、つづく大学間連携共同教育推進事業の採択事業によって、京都の9大学と、大学コンソーシアム京都、地元の産業界ならびに自治体と連携して、地域公共政策士という人材育成プログラムを開発・運用してきました。大学教育の現代化を目指して、EUの欧州資格フレームワーク(EQF)、アメリカの社会的認証システム、国内外の大学地域連携型の教育プログラム、生涯学習社会と大学の役割などについて、幅広く調査研究あるいは交流事業を展開してきました。プログラムのコアコンテンツとして、学生のアクティブラーニングを取り入れ、大学と地域あるいはビジネスとの連携を進めています。

講演者 白石 克孝 氏 龍谷大学 政策学部 教授

略歴

1957年11月生まれ愛知県出身。龍谷大学法学部助教授、龍谷大学法学部教授を経て、2011年より龍谷大学政策学部教授。各国の地域政策やパートナーシップの動態、持続可能な地域づくりについて研究を進めている。地方自治体の審議会やNPO理事長、非営利株式会社社長などの役職に就いている。文部科学省の戦略的大学連携支援事業、大学間連携共同教育推進事業、総務省の域学連携事業で、大学地域連携事業を推進してきた。

シンポジウム

大学連携による学生と地域のエンパワーメント ～未来の地域づくりを目指して～

概要

本シンポジウムでは、基調講演に続き、高等教育機関の連携を通じた学生と地域のエンパワーメントの可能性や課題について、キャンパス・コンソーシアム函館に関連する取り組みを中心に取り上げながら、さまざまな視点、立場から考えていきます。

シンポジスト1 白石 克孝 氏(後半のみ) 龍谷大学 政策学部 教授

シンポジスト2 美馬のゆり 氏 公立はこだて未来大学 教授

略歴

公立はこだて未来大学および日本科学未来館(2003-2006 副館長)の設立計画策定に携わる。科学コミュニケーション促進と科学リテラシー向上のためのボランティア組織を2009年より運営。NHK経営委員(2013-2016)、中央教育審議会委員、科学技術・学術審議会委員などを歴任。著書は『理系女子の生き方のススメ』(岩波書店)、『「未来の学び」をデザインするー空間・活動・共同体』(東京大学出版会)ほか。計算機科学、教育学、認知心理学。博士(学術)。

シンポジスト3 高橋 和将 氏 函館大学 地域連携コーディネーター

略歴

東京都出身。函館大学卒業後、東京の大手企業に勤務。その後、キャラクタービジネス・製品の輸出入の会社を起業(現在に至る)。2015年度より野又学園函館大学に地域連携コーディネーターとして勤務。大学ではPBL科目(商学実習)等における、教員・学生のサポートや研究対象の企業・団体との仲介の他、海外研修プログラムにも携わる。キャンパス・コンソーシアム函館では、PBLの集中講義のプログラムとコーディネートを行った。

シンポジスト4 古館 葵 氏 ハコレコドットコム株式会社
(平成30年3月北海道教育大学函館校卒業)

略歴

青森県八戸市出身。北海道教育大学函館校を卒業し、現在函館市内でホームページを製作する会社に勤務。大学時代は大門合同学生祭やCode for Hakodateなど広い分野で地域活動を行い、まちづくりの勉強をしてきた。現在は、ホームページという媒体を用いて、地域の魅力を発信するというまちづくりの1つを担っている。今後は地域との関わりの中で、学生へのサポート活動を行っていきたく考えている。

コーディネーター 古地 順一郎 氏
北海道教育大学函館校 准教授

略歴

オタワ大学大学院政治学研究科博士課程修了(カナダ)。Ph.D.(政治学・カナダ研究)。モントリオール市役所調査官、外務省在カナダ日本国大使館専門調査員を経て、北海道教育大学函館校講師。2016年から現職。専門は、カナダ政治・ケベック政治、移民政策・多文化共生政策。北海道教育大学函館校が進めているソーシャルクリニックに携わり、地域と大学が協働して地域課題を解決する仕組みづくりに取り組んでいる。

文教行政報告

高等教育政策の動向について

概要

昨今の国における高等教育政策の動向について、ご報告いただきます。

講演者

三浦和幸氏 文部科学省高等教育局 大学振興課長

略歴

1990年	10月	文部省入省
2005年	4月	高等教育局大学振興課補佐
2012年	4月	九州大学企画部長(兼)特定大型研究支援センター長
2013年	4月	高等教育局国立大学法人支援課国立大学戦略室長
2015年	7月	国立大学法人京都大学教育推進・学生支援部長
2017年	7月	文部科学省高等教育局大学振興課長

ポスターセッション

ポスターセッションでは、全国のコンソーシアム組織の先進的な事例や活動状況を紹介し、また、今回は様々な活動を行っている企業も出展する予定です。実践的な取組みや色々な情報を収集いただく場として、ぜひご活用ください。

- 時間：12:00～15:00
- コアタイム：12:00～13:00、14:15～15:00
- 会場：公立はこだて未来大学 3階モール

情報交換会

情報交換会では、立食形式で飲食しながら、全国から参加いただいたコンソーシアム関係者と情報交換ができます。会場から見えるきれいな夜景を楽しむこともできますので、ぜひご参加ください。

- 時間：18:10～19:40
- 会場：公立はこだて未来大学 1階食堂

公立はこだて未来大学見学会のご案内

第1日目に公立はこだて未来大学の学生による大学見学会を行います。申込み、参加費は不要ですので、集合時間になりましたら集合場所にお集まりください。

- 集合時間：10:00、11:00、12:00 (計3回)
- 集合場所：公立はこだて未来大学
3階エントランス(受付近く)
- 所要時間：約30分
- 参加費：不要

昼食のご案内

第1日目の昼食として、お弁当をご用意いたします。希望される場合には、フォーラムの「参加申込フォーム」(P7)による事前の申込みが必要です。事前申込みのない場合は、ご用意できませんので予めご了承ください。会場の売店は第1日目の11:30～13:00に営業を予定していますが、弁当の販売は行いません。また、会場の周辺には食堂、売店等はありません。お弁当を希望されない場合、昼食は各自ご用意ください。

代金 **1,000**円(お茶付き)(税込)
代金は、当日お支払いいただきます。

バス(帰り)のご案内

会場からのお帰りの際には、第1日目の情報交換会終了後および第2日目の分科会終了後に運行する無料のシャトルバスをご利用ください。なお、利用を希望される場合には、「参加申込フォーム」(P7)でのお申込みが必要です。お申込みいただいていない場合には、ご利用いただけません。函館山からの夜景をお楽しみいただくために、シャトルバスを函館山ロープウェイ山麓駅まで運行いたします。函館山山頂へは山麓駅からロープウェイ(有料)のご利用がおすすめです。なお、函館山ロープウェイ山麓駅からお帰りの際は、公共交通機関やタクシーなどをご利用ください。

代金 **無料**

【第1日目】20時頃発

①会場 ⇒ (経由) 亀田支所前、五稜郭、松風町、函館駅前
(終着) 函館山ロープウェイ山麓駅(約50分)

②会場 ⇒ (終着) 湯の川温泉街(約40分)

情報交換会に参加されない場合は、18時47分発の路線バスもご利用ください。

【第2日目】12時頃発

①会場 ⇒ (経由) 亀田支所前、五稜郭、松風町 (終着) 函館駅前(約40分)

②会場 ⇒ (経由) 湯の川温泉街 (終着) 函館空港(約70分)

分科会

第1分科会【一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム】**地域ぐるみで行う“子ども・子育て” ～未来へ命をつなぐ取組～**

行政と大学生が一体となり「命の尊さ」「生命の尊厳」を考える授業を小学校、中学校、高校で行いました。この事業をとおして、担当した大学生を含む次世代の後継者が「妊娠」「出産」「親と子」「人工妊娠中絶」など幅広い学びの場となっていたことを報告します。出生率が伸び悩み、ますます少子高齢化が加速される地域の課題解決事業として行った「私の未来プロジェクト事業」からの事例報告です。

●報告者

松浦香織 旭川市子育て支援部母子保健課 課長
栗田克実 旭川大学保健福祉学部 准教授
芝木美沙子 北海道教育大学旭川校 教授
塩川幸子 旭川医科大学看護学講座 准教授

●コーディネーター

吉田貴彦 旭川医科大学医学部社会医学講座 教授

第2分科会【公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩】**「まちづくりは人づくりから」 ～ネットワーク多摩の新たな挑戦～**

多摩未来奨学金、多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション、日本語スピーチコンテストなど学生主体のイベントや実践活動を通じて、地域が如何に活性化されるか実践的活動の事例を踏まえて、「まちづくりは人づくりから」を検証します。

●報告者

細野助博 公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩専務理事
中央大学 教授
西浦定継 公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩専務理事
明星大学 教授
糸久正人 公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩専務理事
法政大学 准教授

●コーディネーター

細野助博 公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩専務理事
中央大学 教授

第3分科会【公益財団法人 大学コンソーシアム京都】**地域と学生が交わり育つ暮らしのカタチを考える****～学生が参画する多世代交流型地域社会から関係人口づくりへ～**

高齢者宅同居やシェアハウスなど、学生が地域に暮らす「住まい方」のカタチから、学生が参画する多世代交流型地域社会の作り方と効果について実践事例から学び考えます。このような「シェア」する暮らしのデザインから、学生と地域住民が相互作用・相互扶助・相互学習により互いに育て合うエンパワーメントの関係形成づくりの可能性を検討します。加えて、将来的な関係人口づくりの道筋も探ります。

●報告者

菊地吉信 福井大学大学院工学研究科 准教授
片木孝治 株式会社応用芸術研究所
代表取締役(建築家)
長谷川大 NPO法人街ing本郷 代表理事

●コーディネーター

谷口知弘 福知山公立大学 地域経営学部地域経営学科 教授

第4分科会【キャンパス・コンソーシアム函館】**小規模大学コンソーシアムだからできるエンパワーメント事業**

加盟校数が15校に満たないような小規模コンソーシアムには財源や人員に限りがありません。その一方で、大規模コンソーシアムにはない利点もあるはずですが。本分科会ではこのような小規模コンソーシアムの利点を活かした工夫ある学生支援、地域活性化のための共同事業について交流を深めます。

●報告者

田中浩司 キャンパス・コンソーシアム函館 運営会議座長
函館大学 教授
森 樹男 大学コンソーシアム学都ひろさき 企画運営委員長
弘前大学 教授
田柳恵美子 公立ほこだて未来大学 教授

●コーディネーター

田中邦明 キャンパス・コンソーシアム函館 運営会議副座長
北海道教育大学函館校 教授

申込方法

1 申込み(先着順)

- ① 申込みURLから「メールアドレス確認フォーム」にアクセスし、メールアドレスを登録する。
- ② 登録したメールアドレスに「参加申込フォーム」のURLが届く。
- ③ メールに記載されているURLにアクセスし、申込み手続きをする。
- ④ 申込完了後、「申込み完了メール」が届く。

※申込み完了メールが届かない場合は、協議会事務局までお問い合わせください。

※申込み完了後の変更は、一切受け付けられません。

※基調講演者、シンポジスト、コーディネーター、分科会報告者の方は申込み不要です。

2 参加費の支払

- ① 申込み手続き完了後、郵送で払込票が届く。
- ② 最寄りのコンビニエンスストアで参加費を支払う。

※取り扱い可能店は払込票の裏面に記載されています。なお、銀行・ゆうちょ銀行などの金融機関ではお支払いができませんのでご注意ください。

【参加費支払締切】

2018年8月10日(金) 24:00まで

※申込み手続き・参加費支払いが完了していない方は参加できませんのでご注意ください。

※お支払いいただく参加費につきましては、印刷費、WEBシステム運営費、通信費など、諸準備に使用いたしますので、いかなる理由があっても返金等には応じられません。ご了承ください。報告集の代金をお支払いいただいている場合は、欠席された方にも後日送付いたします。

3 参加証の発行

■参加費の支払いが完了したら、参加証がメールが届く。

※8月18日(土)になっても参加証(メール)が届かない場合は、協議会事務局までお問い合わせください。

4 当日

■参加証(メール)をプリントアウトのうえ持参し、受付にて提示する。

※代理の方が参加される場合は、参加証(メール)を持参して、当日の受付にてお申し出ください。



昼食・シャトルバス(帰り)の申込みについて

昼食(弁当)購入、シャトルバス(帰り)利用の申込みは、フォーラムの参加申込みとあわせて、「参加申込フォーム」から行ってください。なお、申込みされない場合には、昼食(弁当)のご購入、シャトルバス(帰り)のご利用はできませんので、ご注意ください。

申込期間

2018年6月8日[金] 10:00
～7月31日[火]

参加費

申込区分	参加費	情報交換会費	報告集	合計	
参加のみ	学 生	—	—	0円	
	学生以外	4,000円	—	4,000円	
参加 + 情報交換会	学 生	—	2,000円	2,000円	
	学生以外	4,000円	4,000円	8,000円	
参加 + 報告集	学 生	—	—	1,000円	
	学生以外	4,000円	—	1,000円	5,000円
参加 + 情報交換会 + 報告集	学 生	—	2,000円	1,000円	3,000円
	学生以外	4,000円	4,000円	1,000円	9,000円

昼食(弁当)

1,000円(当日支払い)

申込みURL(アドレス)

<https://event.consortium.or.jp/entry/zenkoku15/>
もしくは

「[全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム](#)」で検索

全国大学コンソーシアム協議会加盟組織について

全国大学コンソーシアム協議会加盟組織に属している場合、申込みの際に所属組織をご入力ください。ご所属の機関が全国大学コンソーシアム協議会の加盟組織かどうかについては、以下のページをご参照ください。

<https://www.consortium.or.jp/project/zenkoku-conso/office>
もしくは

「[全国大学コンソーシアム協議会加盟一覧](#)」で検索

お問い合わせ先

全国大学コンソーシアム協議会事務局
(大学コンソーシアム京都内)

【受付時間】火曜～土曜 9:00～17:00

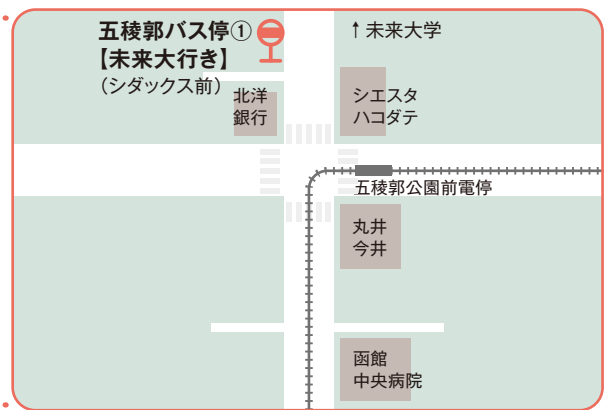
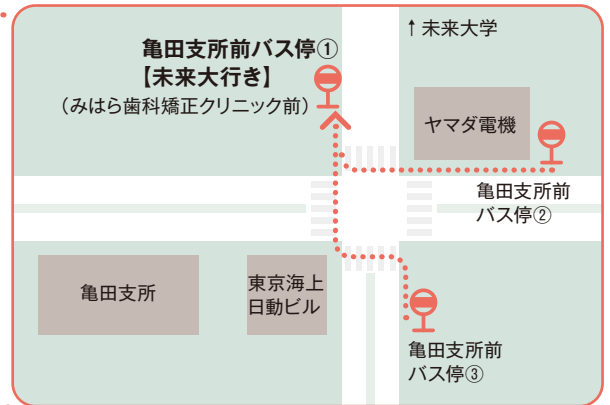
TEL: 075-353-9100

E-mail: alljapan-consortium@consortium.or.jp

会場へのアクセス



●バス乗り換え場所



バス

会場へ向かう際は、函館駅前、五稜郭バス停から乗り換えなしで会場へ向かえる函館バス105系統をご利用ください。函館空港、湯の川温泉街からは函館バス「とびっこ」にご乗車のうえ、新函館北斗駅からは函館バス33系統などにご乗車のうえ、亀田支所前バス停②、③で下車し、函館バス105系統にお乗り換えください。なお、当日は受付時間にあわせて、函館バス105系統を増発いたします。運行時刻はキャンパス・コンソーシアム函館のホームページでご確認ください。(8月上旬掲載予定)

函館バス105系統を利用

- ① 函館駅前バス停(5番乗り場)より ―― 約45分
- ② 五稜郭バス停①より ―― 約25分
- ③ 亀田支所前バス停①より ―― 約12分
- ④ 函館空港バス停からは、函館バス「とびっこ」に乗車
五稜郭バス停①、または、亀田支所前バス停②、③で下車、
函館バス105系統に乗り換え
- ⑤ 新函館北斗駅バス停からは、函館バス33系統、130系統、北海道バス
などに乗車、亀田支所前バス停①で函館バス105系統に乗り換え

※当日は、受付時間にあわせ、函館駅前より函館バス105系統を増発します
※1日目は情報交換会終了後に、函館駅前方面、湯川方面行きシャトルバスを運行します
2日目は分科会終了後に、函館駅前方面、湯川・函館空港方面行きシャトルバスを運行します
なお、新函館北斗駅へは、函館駅からJRのご利用をおすすめします

◎このほか、公立はこだて未来大学の交通アクセスのページ (<https://www.fun.ac.jp/access/#t2>) もご覧ください。



JR

北海道新幹線ご利用の方は、新函館北斗駅よりバス・タクシーをご利用いただくか、JR「はこだてライナー」に乗り換えのうえ、函館駅前よりバス・タクシーをご利用ください。



タクシー

- ① 函館駅前より ―― 約30分 約3,000円
- ② 五稜郭地区より ―― 約20分 約2,300円
- ③ 函館空港より ―― 約35分 約4,000円
- ④ 新函館北斗駅より ―― 約30分 約5,300円

※新函館北斗駅からは、事前予約制の定額タクシーもごさいます。(公立はこだて未来大学の交通アクセスページでご確認ください)

※時間および料金は目安です

お問い合わせ先

[申し込み・プログラムに関するお問い合わせ]

全国大学コンソーシアム協議会事務局(大学コンソーシアム京都内)

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下るキャンパスプラザ京都内

※受付時間：火～土曜9：00～17：00

TEL 075-353-9100 FAX 075-353-9101

E-mail: alljapan-consortium@consortium.or.jp

[会場・施設に関するお問い合わせ]

キャンパス・コンソーシアム函館事務局

〒040-8567 函館市八幡町1番2号 北海道教育大学函館校内

TEL 0138-44-4211 FAX 0138-44-4333

E-mail: info@cc-hakodate.jp URL: <http://www.cc-hakodate.jp>

[会場]

公立はこだて未来大学

〒041-8655 函館市亀田中野町116番地2 TEL 0138-34-6421